

番号	13	中村先生顕彰碑		
所在地	佐賀市富士町中原 3 4 2—2 佐賀市立中小一貫校北山校			
災害別	昭和 3 8 年（ 1 9 6 3） 豪雪（ 3 8 豪雪）			
目的別	顕 彰		建立年	昭和 3 9 年 5 月
特記事項				



昭和 3 7 年 1 2 月末から 2 月にかけては、いわゆる 3 8 豪雪といわれる全国的な豪雪に見舞われ、北山地区でも 6 0 年ぶりの豪雪となった。当時、北山小学校の教諭であった中村富可男氏は、児童を送り届けた帰途遭難。佐賀市立中小一貫校北山校の敷地内に先生の顕彰碑が建立されている。また、遭難の地には「中村先生殉職の地」の碑（別項）が建てられている。

「昭和 3 7 年大晦日より 1 か月近く降り続いた豪雪に北山地区は完全に孤立状態となり児童の通学も困難を極めた。昭和 3 8 年 1 月 2 6 日中村富可男先生は川頭部落児童 1 4 名を送り届け更に引き返して山端部落の通学路現地踏査のため同地へ向かったが日没になり山端より 1 キロメートルの地点で道を見失い遂に悲壮なる殉職を遂げられた。行年 4 1 歳先生の旺盛なる責任感と燃ゆるが如き教育愛とを永遠に伝えるために、ここに顕彰碑を

建立するのである。 昭和39年5月 中村富可男先生顕彰会

休校の知らせを^{おえ}了て帰途につく路上の児等はスキー楽しむ（中村先生遺詠 昭・三八・一・二二）

建立者 富士村 北山中学校育友会 北山小学校同窓会 全 同級会 中村先生教え子の会 鶴城同窓会第三十九期生 全 富士村支部」



国土地理院電子国土 Web



「中村先生殉職の地」の碑